



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年1月31日  
上場取引所 東

上場会社名 キッセイ薬品工業株式会社  
コード番号 4547 URL <http://www.kissei.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 神澤 陸雄  
問合せ先責任者 (役職名) 理事財務管理部長 (氏名) 北原 孝秀  
四半期報告書提出予定日 平成29年2月10日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

TEL 0263-25-9081

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	54,609	1.6	7,738	△31.2	8,914	△28.1	7,043	△20.0
28年3月期第3四半期	53,749	2.1	11,245	28.3	12,393	15.7	8,807	18.2

(注) 包括利益 29年3月期第3四半期 4,161百万円(△70.2%) 28年3月期第3四半期 13,963百万円(19.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	144.36	—
28年3月期第3四半期	180.02	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第3四半期	187,237	158,436	84.5	3,273.06
28年3月期	193,345	158,125	81.6	3,226.40

(参考) 自己資本 29年3月期第3四半期 158,144百万円 28年3月期 157,859百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	22.00	—	22.00	44.00
29年3月期	—	23.00	—		
29年3月期(予想)				23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	71,700	0.6	9,200	△10.5	10,000	△11.9	7,700	△5.7	158.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	29年3月期3Q	54,311,185株	28年3月期	54,311,185株
② 期末自己株式数	29年3月期3Q	5,994,175株	28年3月期	5,383,634株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	29年3月期3Q	48,791,695株	28年3月期3Q	48,927,855株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因によって大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提条件その他に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
(4) 追加情報 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8
4. その他 .....	10
(1) 販売実績 .....	10
5. 補足説明資料 .....	11
(1) 連結決算概要 .....	11
(2) 主要医薬品売上高 .....	11
(3) 新薬開発状況(自社) .....	12
(4) 新薬開発状況(導出) .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における医薬品業界は、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年4月に実施されました薬価改定におきまして、新薬創出・適応外薬解消等促進加算の試行的導入が継続される一方で、特例市場拡大再算定や後発品への置き換えが進まない長期収載医薬品への特例引下げが実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、物品販売業界、建設業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲に改善傾向が見られ、個人消費の一部が回復基調に転じつつあるものの、総じて景気の先行き不透明感が払拭できず、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような状況下、当第3四半期連結累計期間の業績は以下のとおりとなりました。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	増減率 (%)
売上高 (百万円)	53,749	54,609	1.6
営業利益 (百万円)	11,245	7,738	△31.2
経常利益 (百万円)	12,393	8,914	△28.1
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (百万円)	8,807	7,043	△20.0

医薬品事業の売上高は、473億1百万円（前年同期比1.3%減）となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、高リン血症治療薬「ピートル®チュアブル錠」、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ®錠」及び「ユリーフ®OD錠」、糖尿病治療薬「グルベス®配合錠」並びに「グルファスト®錠」及び「グルファスト®OD錠」などの売上が増加いたしました一方、技術料売上や国内販売提携先への供給額が減少いたしましたことなどにより減収となりました。また、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬シロドシン（一般名、日本製品名ユリーフ）の北米・中南米における技術導出先でありますアラガン社（アメリカ）及び欧州・中東・アフリカなどにおける技術導出先でありますレコルダッチ社（イタリア）では、当連結累計期間におきましても引き続きそれぞれの許諾地域内において製品育成を進めております。なお、昨年12月にはアスペンジャパン株式会社との間で同社が製造・販売しております免疫抑制剤「イムラン®錠」の日本国内におけるコ・プロモーション契約を締結し、本年1月より医薬情報活動を開始いたしました。

その他の事業の売上高は、73億8百万円（前年同期比25.5%増）となりました。情報サービス業、物品販売業、建設請負業のそれぞれにおきまして増収となりました。

利益面では、増収となりましたものの、売上原価率の上昇に加え、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が増加いたしましたことにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益は減益となりました。

研究開発の状況につきましては、昨年7月にグルベスの剤形追加（口腔内崩壊錠）の承認申請を行いましたほか、同年10月には潰瘍性大腸炎治療薬AJG511（開発番号、一般名：ブデソニド）について当社との共同開発先でありますEAファーマ株式会社より承認申請が行われました。また、持続型赤血球造血刺激因子製剤ダルベポエチンアルファ（一般名）のバイオ後続品JR-131（開発番号）の第Ⅲ相臨床試験、並びに脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロバチレリン）の追加の第Ⅲ相臨床試験を、それぞれ開始しております。

## (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は1,872億3千7百万円となり、前連結会計年度末に比べ61億8百万円減少しました。流動資産は受取手形及び売掛金などが増加しましたが、現金及び預金、有価証券が減少しましたことなどにより、34億円減少し966億5千万円となりました。固定資産は投資有価証券の減少などにより、27億8百万円減少し905億8千6百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の負債は288億円となり、前連結会計年度末に比べ64億1千9百万円減少しました。流動負債は支払手形及び買掛金、「その他」に含まれる未払金が減少しましたことなどにより、51億3千6百万円減少し144億7千1百万円となりました。固定負債は繰延税金負債、退職給付に係る負債が減少しましたことなどにより、前連結会計年度末に比べ12億8千2百万円減少し143億2千9百万円となりました。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,584億3千6百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億1千1百万円

増加しました。その他有価証券評価差額金の減少や自己株式の取得があった一方で、利益剰余金の増加などの変動がありました。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の81.6%から84.5%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年3月期の連結業績予想につきましては、平成28年11月8日発表の連結業績予想から変更しておりません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響は軽微であります。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	25,666	23,217
受取手形及び売掛金	24,966	28,187
有価証券	24,476	21,039
商品及び製品	5,980	5,625
仕掛品	1,422	815
原材料及び貯蔵品	9,973	10,177
繰延税金資産	2,038	1,813
その他	5,528	5,776
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	100,051	96,650
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	37,830	37,897
減価償却累計額	△26,780	△27,312
建物及び構築物(純額)	11,050	10,585
土地	12,984	12,934
建設仮勘定	—	197
その他	14,695	14,669
減価償却累計額	△11,971	△12,291
その他(純額)	2,724	2,377
有形固定資産合計	26,758	26,094
無形固定資産	813	1,041
投資その他の資産		
投資有価証券	62,300	60,335
繰延税金資産	553	499
その他	2,922	2,669
貸倒引当金	△53	△53
投資その他の資産合計	65,722	63,450
固定資産合計	93,294	90,586
資産合計	193,345	187,237

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,829	4,213
短期借入金	1,815	1,805
未払法人税等	1,668	574
賞与引当金	2,185	1,049
その他の引当金	609	731
その他	7,499	6,096
流動負債合計	19,608	14,471
固定負債		
長期借入金	1,488	1,667
繰延税金負債	7,395	6,379
役員退職慰労引当金	126	130
退職給付に係る負債	6,013	5,600
資産除去債務	110	111
その他	477	439
固定負債合計	15,612	14,329
負債合計	35,220	28,800
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	24,356	24,356
資本剰余金	24,247	24,247
利益剰余金	96,230	101,072
自己株式	△11,189	△12,838
株主資本合計	133,644	136,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,945	22,782
退職給付に係る調整累計額	△1,730	△1,475
その他の包括利益累計額合計	24,214	21,307
非支配株主持分	265	291
純資産合計	158,125	158,436
負債純資産合計	193,345	187,237

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	53,749	54,609
売上原価	16,987	18,689
売上総利益	36,762	35,920
返品調整引当金戻入額	15	12
返品調整引当金繰入額	13	12
差引売上総利益	36,763	35,921
販売費及び一般管理費	25,517	28,182
営業利益	11,245	7,738
営業外収益		
受取利息	45	33
受取配当金	857	827
有価証券評価益	213	353
その他	59	67
営業外収益合計	1,175	1,282
営業外費用		
支払利息	23	18
為替差損	—	82
その他	4	4
営業外費用合計	28	105
経常利益	12,393	8,914
特別利益		
固定資産売却益	1	18
投資有価証券売却益	0	651
特別利益合計	1	670
特別損失		
固定資産処分損	21	11
減損損失	108	47
関係会社株式評価損	60	—
関係会社出資金評価損	4	59
特別損失合計	194	118
税金等調整前四半期純利益	12,200	9,466
法人税、住民税及び事業税	2,503	1,838
法人税等調整額	876	562
法人税等合計	3,380	2,400
四半期純利益	8,820	7,065
非支配株主に帰属する四半期純利益	12	22
親会社株主に帰属する四半期純利益	8,807	7,043

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益	8,820	7,065
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,272	△3,163
退職給付に係る調整額	△128	259
その他の包括利益合計	5,143	△2,903
四半期包括利益	13,963	4,161
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	13,951	4,135
非支配株主に係る四半期包括利益	11	26

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	47,925	47,925	5,823	53,749
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	4,017	4,017
計	47,925	47,925	9,841	57,766
セグメント利益	10,911	10,911	338	11,250

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	10,911
「その他」の区分の利益	338
セグメント間取引消去	19
固定資産の調整額	△18
その他の調整額	△6
四半期連結損益計算書の営業利益	11,245

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他(注)	合計
	医薬品	計		
売上高				
外部顧客への売上高	47,301	47,301	7,308	54,609
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	3,180	3,180
計	47,301	47,301	10,488	57,789
セグメント利益	7,175	7,175	482	7,658

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、情報サービス業、物品販売業及び建設請負業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	7,175
「その他」の区分の利益	482
セグメント間取引消去	33
固定資産の調整額	48
その他の調整額	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	7,738

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

なお、これによる当第3四半期連結累計期間のセグメント利益への影響は軽微であります。

## 4. その他

## (1) 販売実績

当連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

区分	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)		当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)		増減	
	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	構成比 (%)	金額 (百万円)	増減率 (%)
医薬品事業						
その他代謝用薬	10,961	20.4	13,070	23.9	2,109	19.2
神経系用薬	160	0.3	144	0.3	△15	△9.8
感覚器官用薬	1,235	2.3	1,084	2.0	△150	△12.2
循環器官用薬	3,663	6.8	2,870	5.2	△793	△21.7
消化器官用薬	2,430	4.5	2,330	4.3	△100	△4.1
ホルモン・泌尿生殖・ 血液体液用薬	15,675	29.2	15,663	28.7	△11	△0.1
アレルギー用薬	996	1.9	842	1.5	△153	△15.4
その他	12,801	23.8	11,293	20.7	△1,507	△11.8
報告セグメント計	47,925	89.2	47,301	86.6	△624	△1.3
その他の事業	5,823	10.8	7,308	13.4	1,484	25.5
合計	53,749	100.0	54,609	100.0	860	1.6
(うち輸出高)	(5,757)	(10.7)	(4,487)	(8.2)	(△1,270)	(△22.1)

(注) セグメント間取引については、相殺消去しております。

5. 補足説明資料

(1) 連結決算概要

(単位：百万円)

	平成28年3月期		平成29年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
売上高	53,749	71,294	54,609	1.6%	71,700	0.6%
営業利益 (売上高比%)	11,245 (20.9)	10,274 (14.4)	7,738 (14.2)	△31.2%	9,200 (12.8)	△10.5%
経常利益 (売上高比%)	12,393 (23.1)	11,353 (15.9)	8,914 (16.3)	△28.1%	10,000 (13.9)	△11.9%
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (売上高比%)	8,807 (16.4)	8,165 (11.5)	7,043 (12.9)	△20.0%	7,700 (10.7)	△5.7%
販売費及び一般管理費	25,517	37,439	28,182	10.4%	37,400	△0.1%
研究開発費 (売上高比%)	8,379 (15.6)	14,106 (19.8)	9,834 (18.0)	17.4%	13,000 (18.1)	△7.8%
輸出高	5,757	7,231	4,487	△22.1%	6,320	△12.6%

(2) 主要医薬品売上高

(単位：百万円)

	平成28年3月期		平成29年3月期			
	第3四半期 累計	通期	第3四半期 累計	前同比	通期予想	前期比
排尿障害改善薬 ユリーフ	11,830	15,473	12,466	5.4%	16,000	3.4%
糖尿病治療薬 グルファスト	2,830	3,623	2,975	5.1%	3,300	△8.9%
糖尿病治療薬 グルベス	3,045	3,925	3,243	6.5%	4,500	14.6%
高リン血症治療薬 ピートル	308	626	2,281	639.3%	3,500	459.1%
口腔乾燥症状改善薬 サラジェン	1,154	1,456	1,191	3.2%	1,620	11.3%
腎性貧血治療薬 エポエチンアルファBS注JCR	4,777	6,049	4,571	△4.3%	5,700	△5.8%
高脂血症治療薬 ベザトール	3,067	3,817	2,400	△21.8%	3,000	△21.4%
切迫流・早産治療薬 ウテメリン	2,320	2,866	1,854	△20.1%	2,200	△23.2%
脳循環改善薬 キサンボン	595	728	469	△21.1%	570	△21.7%
アレルギー性結膜炎治療薬 リザベン点眼液	790	1,339	682	△13.7%	1,100	△17.8%
アレルギー性疾患治療薬 リザベン	882	1,135	746	△15.4%	1,000	△11.9%
気管支喘息治療薬 ドメナン	114	146	96	△15.9%	130	△11.0%
血液凝固阻止剤 フラグミン	217	266	164	△24.3%	210	△21.1%
子宮内膜症治療薬 ゾラデックス1.8mgデポ	580	730	453	△21.8%	580	△20.5%
活性型ビタミンD <sub>3</sub> 製剤 フルスタン	496	628	492	△0.7%	630	0.3%

(3) 新薬開発状況 (自社)

(平成29年1月現在)

開発段階	製品名／ 一般名／ 開発番号	開発区分	予想される適応症	主な作用等	備考
承認申請中	グルベス®	自社開発	2型糖尿病	速効・短時間型インスリン分泌促進作用 + α-グルコシダーゼ阻害作用	ミチグリニド・ボグリボース配合剤 剤形追加(OD錠)
	ブデソニド/ AJG511	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	局所作用型ステロイド	注腸フォーム製剤
第Ⅲ相	ロバチレリン/ KPS-0373	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン 放出ホルモン (TRH) 作用	
	カロテグラスト メチル/ AJM300	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害 作用	
	オザグレル/ KCT-0809	創製品/テイカ製薬 共同開発	シェーグレン症候群 に伴うドライアイ	角結膜上皮障害修復 作用	
	ビベグロン/ KRP-114V	導入品/杏林製薬 共同開発	過活動膀胱	β3アドレナリン 受容体刺激作用	
	JR-131	導入品/JCRファーマ 共同開発	腎性貧血	赤血球増加作用	ダルベポエチン アルファ バイオ後続品
第Ⅱ相	KLH-2109	創製品	子宮内膜症、 子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト	
第Ⅰ/Ⅱ相 準備中	YS110	導入品/ワイズ・エ ー・シー、東京大学、 日本医療研究開発機構 (AMED)	悪性中皮腫	抗CD26ヒト化モノク ローナル抗体	
第Ⅰ相	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激 作用	

※ 前回公表時(平成28年11月)からの変更点: なし

(4) 新薬開発状況 (導出)

(平成29年1月現在)

開発段階	一般名／ 開発番号	提携企業	権利地域	予想される適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ (日本)	アセアン※1	2型糖尿病	速効・短時間型イン スリン分泌促進作用
	シロドシン (silodosin)		アセアン、インド、 スリランカ ※2	前立腺肥大症に伴う 排尿障害	α1Aアドレナリン 受容体拮抗作用
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作、 切迫早産	β2アドレナリン 受容体刺激作用
	KLH-2109	オブシーバ (スイス)	日本、一部のアジア を除く全世界	子宮内膜症、 子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
第Ⅰ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	COPD	β2アドレナリン 受容体刺激作用

※ 前回公表時(平成28年11月)からの変更点: なし

※1: 発売: タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、申請中: 2カ国

※2: 発売: タイ、インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、承認: ミャンマー、申請中: アセアン3カ国